

登録コード	E4121902	開講年度	2026				
授業科目	特別支援教育概論C					担当教員	奥村 真衣子
英文授業名	Problems and Issues in Special Needs Education C					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限		対象学生	
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	特別支援教育の理念や制度を理解し、担当する学校種や専門教科にかかわらず、全ての教員が特別支援教育を担う一員であることを理解する。特に通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒の特徴を理解し、指導方法を例示できること、また校内支援体制の構築の必要性を理解することが求められる。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス／特別支援教育の概要 第2回：通常の学級に在籍する特別なニーズのある子ども 第3回：特別支援教育の理念や仕組み 第4回：特別支援教育の教育課程 第5回：障害理解演習 第6回：発達障害（LD, ADHD, ASD）の理解【オンデマンド】 第7回：発達障害（LD, ADHD, ASD）の指導【オンデマンド】 第8回：情緒障害、言語障害の理解と指導【オンデマンド】 第9回：知的障害の理解と指導【オンデマンド】 第10回：視覚障害、聴覚障害の理解と指導【オンデマンド】 第11回：肢体不自由、病弱・身体虚弱の理解と指導【オンデマンド】 第12回：個別の指導計画、個別の教育支援計画／特別支援教育コーディネーターと地域支援【オンデマンド】 第13回：自立活動、通級による指導 第14回：母国語や貧困の問題／インクルーシブ教育、授業アンケート 期末試験						
(6)成績評価の方法	・各担当が提示する課題あるいは試験によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	本科目に関する最低限の知識があれば「水準にある」、一定の知識があれば「やや上にある」、十分な知識があれば「かなり上にある」、十分な知識があり、その理解が優れていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	授業では教科書をベースに基礎的内容を取り扱うが、講義内容の理解を深めるためには、教育現場での実践を知ることが役に立つ。例えば、国立特別支援教育総合研究所の「インクルーシブ教育システム構築データベース」（ http://inclusive.nise.go.jp/ ）には、障害種や学校種、支援体制など、いくつかの観点から実践事例を紹介している。授業で扱うテーマに応じて学習しておくことを勧める。その他、配布資料による予習・復習、図書館等での調べ学習など自主的に行うことが望まれる。 この授業は90時間の学習を必要とする内容のため、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	特別支援教育コース以外の学生が対象。 授業の一部で障害疑似体験教材の作成実習を行う。材料の一部について各自で準備する場合がある（数百円程度）						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等がある場合はメールで対応する。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。 奥村：maio@shinshu-u.ac.jp 楠見：kusumi@shinshu-u.ac.jp 宮地：miyaji@shinshu-u.ac.jp 戸谷：toya_kenji@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	「教職をめざす人のための特別支援教育―基礎から学べる子どもの理解と支援―」、杉中拓央・呉裁喜・松浦孝明編（2021）、福村出版、定価2420円。						
【参考文献】	授業の中で適宜紹介する。						